

2025年3月期 中間期決算

決算説明会資料

2024年11月27日

 **旭情報サービス株式会社**

東京証券取引所 | スタンダード市場
証券コード | 9799



Agenda

- I**▶ 会社概要
- II**▶ 2025年3月期 中間期決算
- III**▶ 中期経営計画
(2023年3月期～2025年3月期)
- IV**▶ 株主利益の維持・向上
- V**▶ サステナビリティへの取り組み
- VI**▶ ご参考:データ資料

Agenda

- I** 会社概要
- II** 2025年3月期 中間期決算
- III** 中期経営計画
(2023年3月期～2025年3月期)
- IV** 株主利益の維持・向上
- V** サステナビリティへの取り組み
- VI** ご参考: データ資料



ASAHI INTELLIGENCE SERVICE

AIS

ICT社会の発展を価値ある「サービス」と「人」で支える

旭情報サービス株式会社

企業理念

旭情報サービスは
生き生きとした人づくりに基づき
創意工夫とたゆまぬサービス改善により
情報社会の健全な発展に貢献します。



公式マスコットキャラクター
「ふくーたん博士」

概要

設立	1962年8月7日
資本金	7億3,336万円
社員数	1,898名(2024年9月末現在)
本社	東京都千代田区丸の内 1丁目7番12号 サピアタワー11階
オフィス	東京・横浜・名古屋・大阪
事業内容	・ネットワークシステムの構築・運用・管理 ・ソフトウェアの設計・開発業務 ・ホスト系コンピューターシステムの 保守・運用・管理 ・OA事務サポート ・ヘルプデスクなど



システム開発部門

アプリケーションの企画・設計・開発

- WEB アプリケーション
- 業務アプリケーション
- 組込みプログラム

ネットワークサービス部門

システム構築・管理

- ITインフラの構築・運用
- ネットワークの構築・運用
- システム・ソフトウェア導入
- セキュリティ
- サポートデスク
- 保守・メンテナンス

システム運用部門

ホスト系システムの安定運行

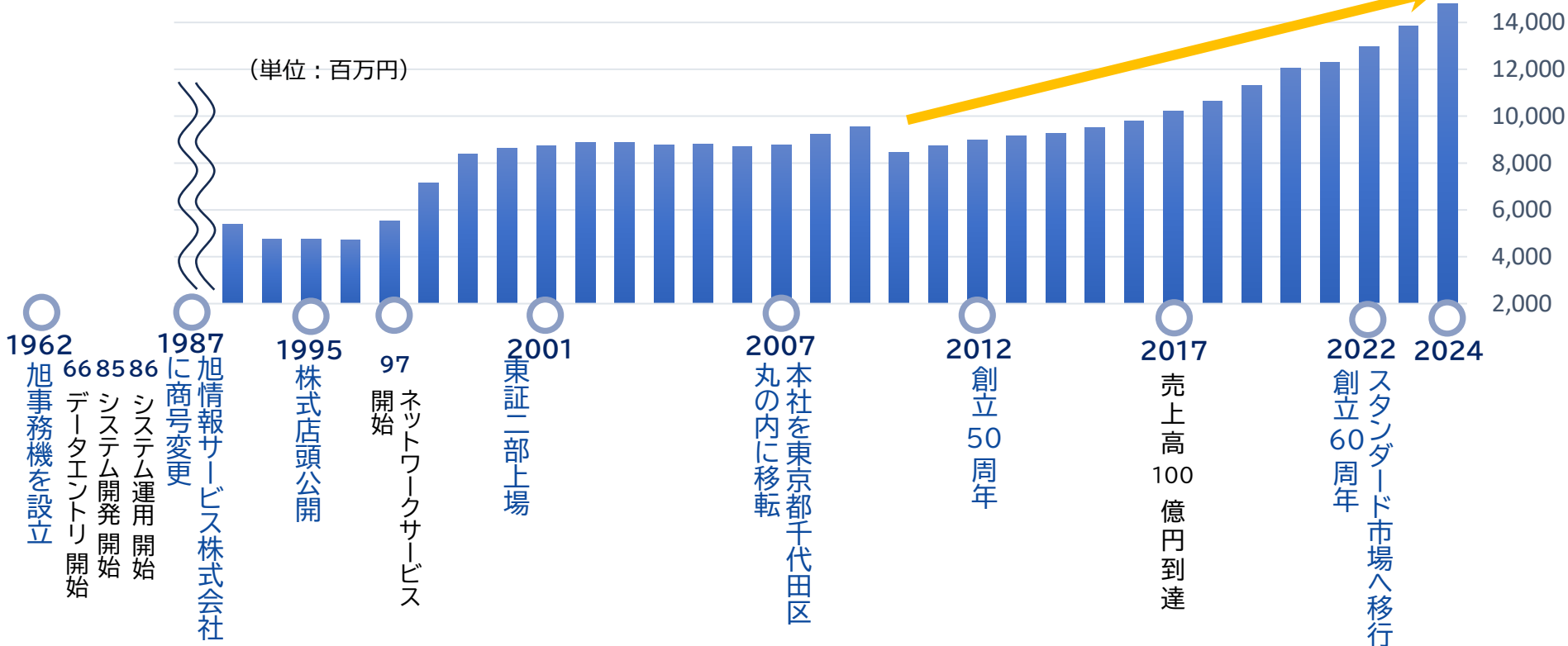
- システム運用管理・監視
- オペレーション
- トラブル対応





主な沿革と売上高の推移

堅実な経営により時代の変化を乗り越えながら事業の継続的な成長を実現



バブル崩壊

ITバブル崩壊

リーマンショック

コロナショック

分散型システム
ネットワーク化

インターネット
利用の拡大

クラウドコンピューティングと
IoT、AIの時代到来



多様な業種の優良顧客

自動車



通信



金融・保険



家電



卸売・小売



運輸(交通)



需要

長年の取引

改善提案

信頼関係の構築

人づくり

人的資本への投資

採用

・新規採用
・キャリア採用
・ビジネス
パートナーの活用

強化
インターン
シップ

+

従業員数増

育成

・技術スキル診断
・社内認定資格
・社内外講習

強化
DX技術

+

技術力向上

働きがい

・女性活躍推進
・制度の見直し
・メリハリのある処遇

強化
健康経営

+

定着率向上

Agenda

- I**▶ 会社概要
- II**▶ **2025年3月期 中間期決算**
- III**▶ 中期経営計画
(2023年3月期～2025年3月期)
- III**▶ 株主利益の維持・向上
- IV**▶ サステナビリティへの取り組み
- V**▶ ご参考:データ資料



・2025年3月期 中間期実績 2024/4/1～9/30

売上高

7,743百万円

(前年同期比+7.7%)



Up

DX推進や従来型システムの刷新に関連する需要を軸に売上が伸長



Up

主に自動車関連や移動体通信などの分野における受注拡大

営業利益

681百万円

(前年同期比+14.4%)



Down

採用強化や技術者への教育投資及び賃金改善



Up

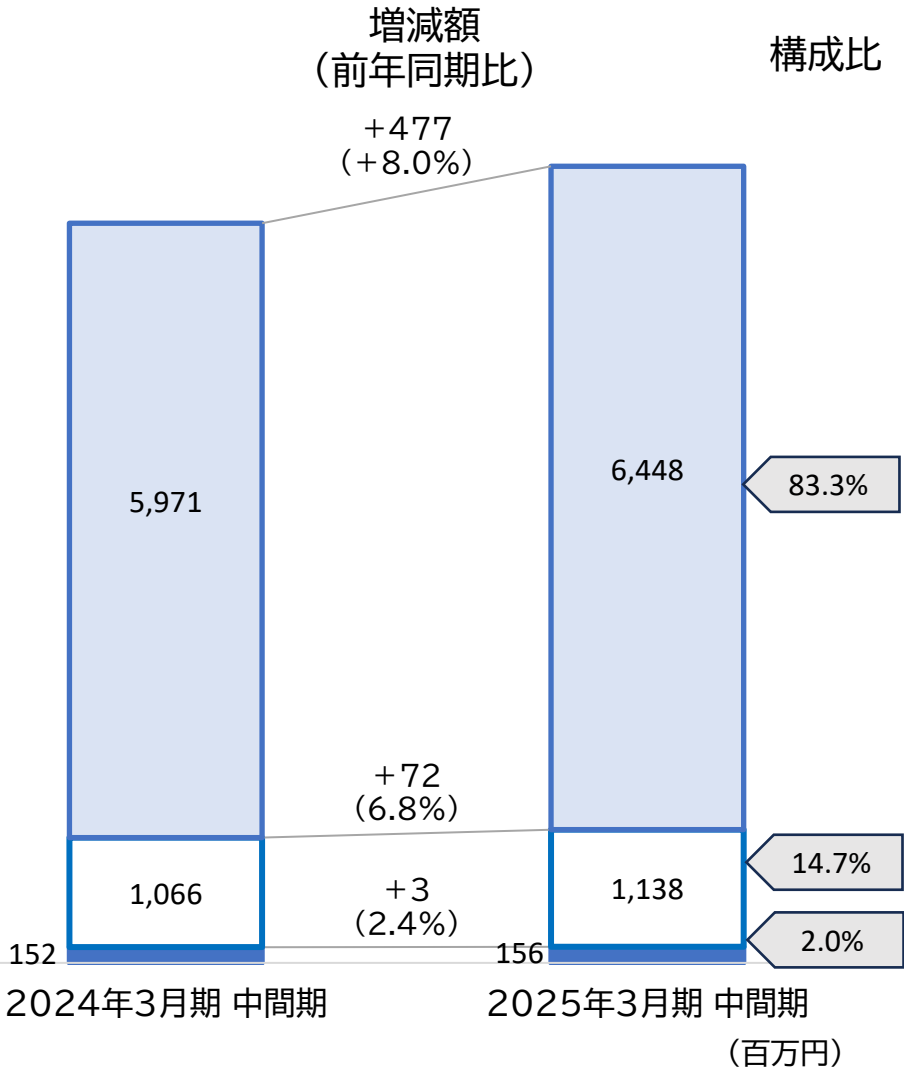
案件獲得や契約料金の改善による収益力の向上

経営成績



	前 期 2024年3月期 中間期		当 期 2025年3月期 中間期		
	実績	期初予想	実績	前年同期比	予想比
売上高(百万円)	7,190	7,560	7,743	+ 7.7%	+ 2.4%
営業利益(百万円)	595	651	681	+14.4%	+ 4.7%
営業利益率	8.3%	8.6%	8.8%	—	—
経常利益(百万円)	609	666	687	+12.8%	+ 3.2%
経常利益率	8.5%	8.8%	8.9%	—	—
中間純利益(百万円)	414	451	468	+12.9%	3.8%

事業部門別売上高



事業部門	売上高の増減要因
ネットワークサービス	↑ Up DX推進に関連する案件や従来型システムの刷新の需要が活況 ↑ Up 請負・委託業務を中心に取引が拡大
システム開発	↑ Up 顧客のDX推進に関わる案件獲得 ↑ Up 業務系アプリケーション等の案件獲得
システム運用	↓ Down 汎用系技術者はネットワーク系技術へ移行 ↑ Up 契約料金の改善



取引先企業の業種別売上高

- ▶全体的に多様な業種の企業との取引が安定的に推移
- ▶主要取引先である製造業の「自動車・自動車関連」や通信業の「大手通信キャリア」の案件が大きく増加

2025年3月期 中間期

<エンドユーザ業種>

単位:億円	売上高	前年同期比	構成比
製造業	40.2	+10.8%	51.9%
自動車・自動車関連	(27.6)	(+12.2%)	(35.7%)
家電	(1.5)	(△1.1%)	(2.0%)
コンピュータ	(0.9)	(+3.4%)	(1.3%)
その他	(10.0)	(+10.0%)	(12.9%)
通信業	12.8	+8.1%	16.6%
金融・保険業	6.2	+4.2%	8.1%
卸売・小売業	2.7	+2.4%	3.6%
運輸業	1.9	+5.0%	2.5%
その他	13.4	+1.7%	17.3%
合計	77.4	+7.7%	100.0%

業種別売上構成比上位

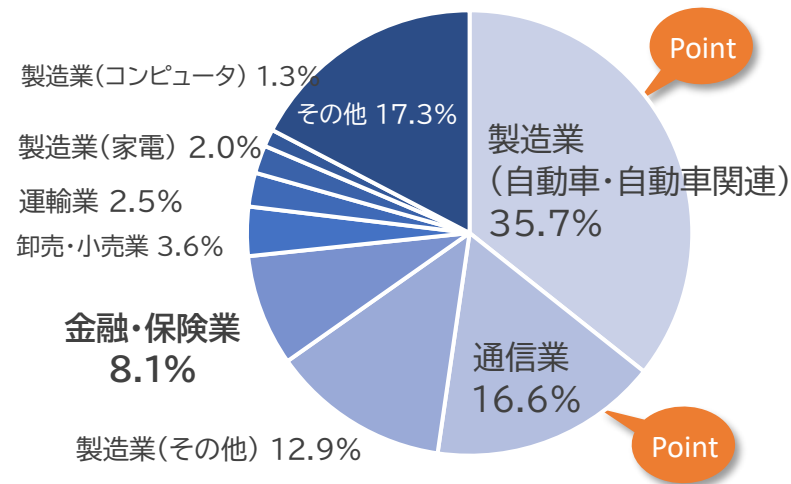
自動車・
自動車関連



通信



金融・保険





2024年5月1日発表の通期業績予想に変更はありません。

15期連続
増収増益へ

	2024年3月期	2025年3月期	前期比
売上高(百万円)	14,786	 15,550	+5.2%
営業利益(百万円)	1,427	 1,535	+7.5%
営業利益率	9.7%	9.9%	—
経常利益(百万円)	1,456	 1,563	+7.3%
経常利益率	9.9%	10.1%	—
当期純利益(百万円)	1,071	 1,077	+0.5%

Agenda

I

会社概要

II

2025年3月期 中間期

III

**中期経営計画
(2023年3月期～2025年3月期)**

IV

株主利益の維持・向上

V

サステナビリティへの取り組み

VI

ご参考: データ資料

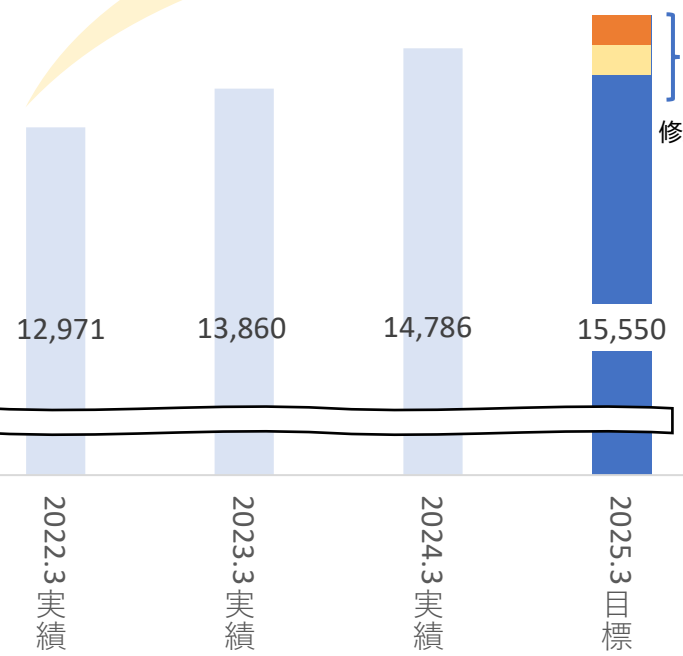


中期業績目標

中期計画(2023年3月期～2025年3月)の当初の業績目標は**2024年3月に達成**
新たな**修正目標**に対しても**堅調に推移**

売上高

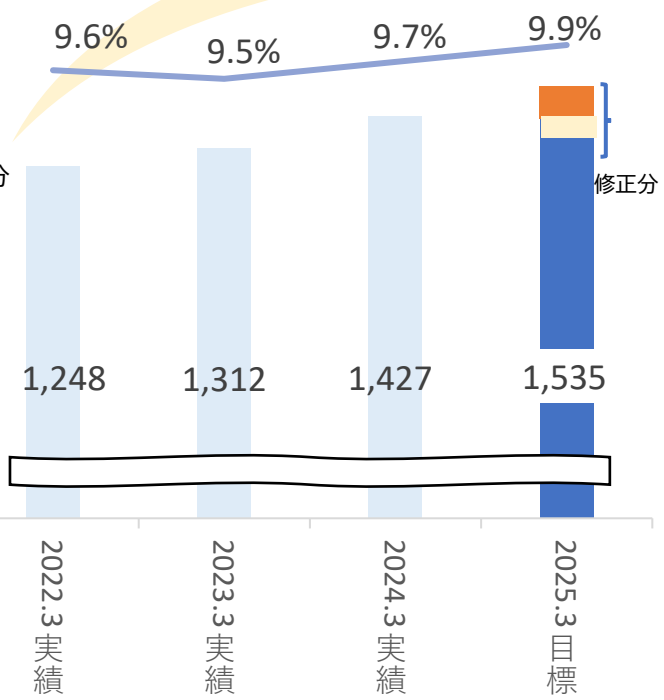
2022年3期比
+2,578百万円(成長率19.9%)



(単位：百万円)

営業利益と営業利益率

2022年3期比
+286百万円(成長率23.0%)



(単位：百万円)

修正目標(2024年5月)

売上高	15,550百万円
営業利益	1,535百万円
営業利益率	9.9%

修正目標(2023年5月)

売上高	14,750百万円
営業利益	1,390百万円
営業利益率	9.4%

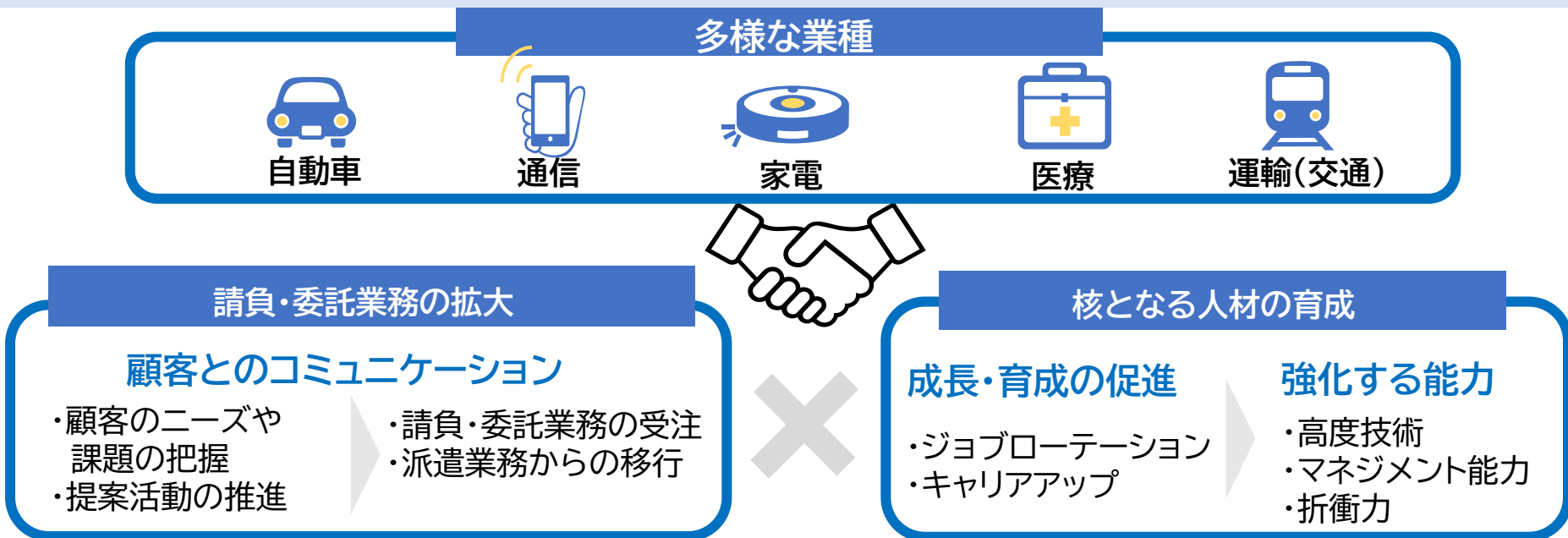
当初目標

売上高	14,150百万円
営業利益	1,360百万円
営業利益率	9.6%

請負・委託業務の拡大

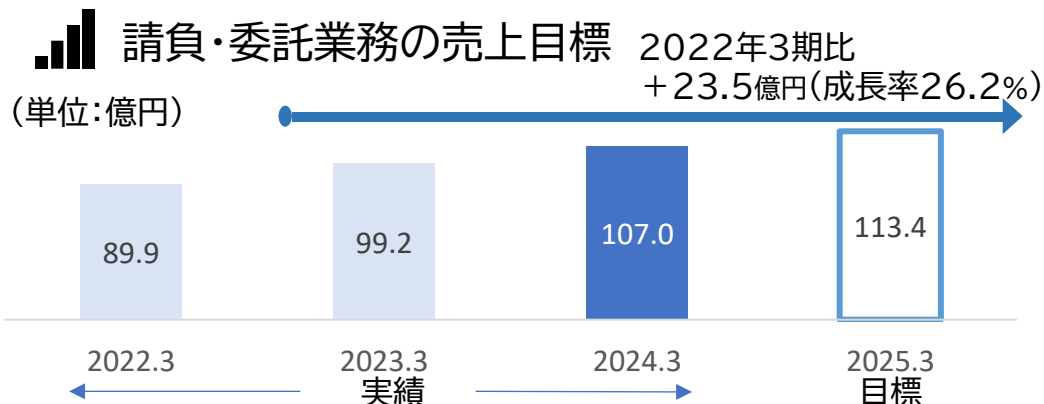


請負・委託業務の拡大に向けた売上目標に対して**堅調に推移**



ポイント

- 顧客の指示命令や教育のコストを削減できる
- 当社は追加の案件受注など業務の拡張性が高まる





DX化の支援強化

デジタルトランスフォーメーション(DX)のターゲットを定め人材の育成を進めることで顧客のDX化需要に応える

DXターゲット業務

DXテクノロジーの導入、利用・活用を支援

- ・DXテクノロジーを活用した顧客先の自動化・効率化を支援する業務
- ・クラウド環境の構築、移行を支援する業務
- ・アジャイル方式での開発業務、ノーコード/ローコード開発業務
- ・顧客のビジネスプロセス改善を支援する業務

DX人材育成

人材育成

- DXテクノロジーを中心に技術者育成
- ・DX関連の教育環境の拡充
- ・DX関連資格取得の支援
- ・ジョブローテーション

DXテクノロジー
教育・学習環境

DXテクノロジー



AI



Cloud Computing



RPA



Internet of Things



Mobility



Cyber Security



新たな事業を模索し、将来の**経営基盤の盤石化**を目指す

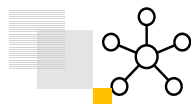
市場環境の変化に対応した**新たな事業**を模索し、当社のさらなる**成長**につなげる

成長投資

既存の事業領域とのシナジーを期待できる分野に投資

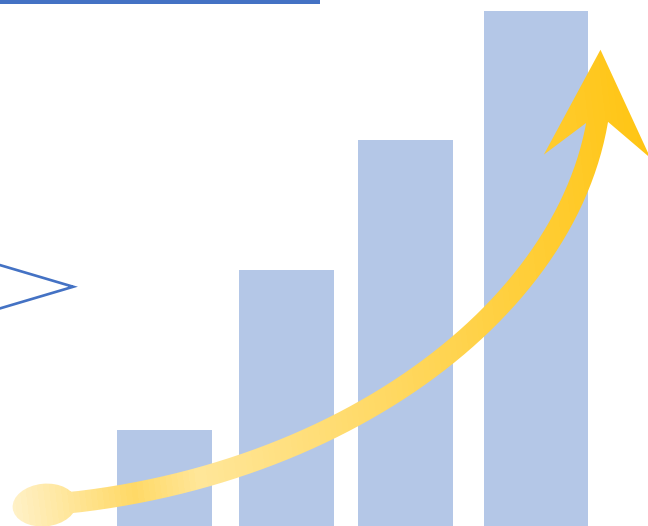


Digital
Transformation



新規ビジネス開発

M&A
資本提携
業務提携



新規サービスの拡充



顧客の事業を支援するプロダクトをリリース

DX推進の支援



エンジニア育成の支援

2023/11/6
リリース



オルツ社が開発したAIを用いた
Communication Intelligence
(AI自動議事録ツール)

2024/4/1
リリース



RPA導入、作成サポートをマンツーマン指導で行うIT教育サービス

2024/4/1
リリース



ITエンジニアの育成に向けた、
様々な教育ソリューション

2024/7/22
リリース

e-learning講座

電気自動車のすべて

embex education

電気自動車開発の第一人者である
清水浩教授が制作したeラーニング講座

Agenda

I

会社概要

II

2025年3月期 中間期決算

III

中期経営計画
(2023年3月期～2025年3月期)

IV

株主利益の維持・向上

V

サステナビリティへの取り組み

VI

ご参考: データ資料

IV 株主利益の維持・向上 持続的な企業価値向上に向けたアクション



収益基盤の強化

- ▶ 将来のキャッシュ・フロー成長を支える人材・DX推進への継続的な投資
- ▶ 付加価値向上に向けた新たな事業戦略の検討・推進
- ▶ M&Aや資本提携、業務提携の検討

安定的な株主還元の継続

- ▶ 配当性向40%を目途にした株主還元の充実

IR活動の充実

- ▶ 機関投資家、個人投資家向けの決算説明会の実施
- ▶ 決算説明補足資料、中期経営計画の開示及び内容の充実
- ▶ サステナビリティ情報や非財務情報発信の充実

Target

持続的な成長指標

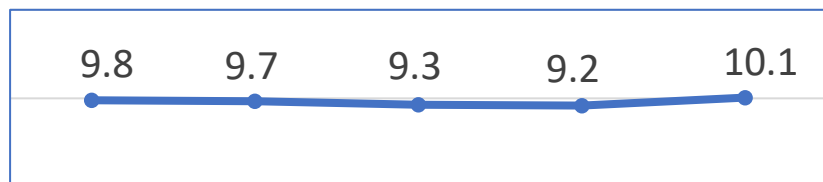
ROE
10.0%以上

市場からの
企業価値評価指標

PBR
1.0倍以上

ROE推移

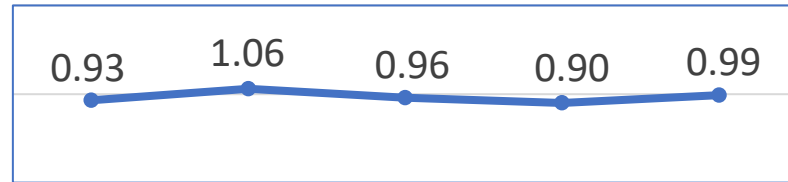
(%)



2020.3 2021.3 2022.3 2023.3 2024.3

PBR推移

(倍)



2020.3 2021.3 2022.3 2023.3 2024.3



執行役員制度の導入と組織改正

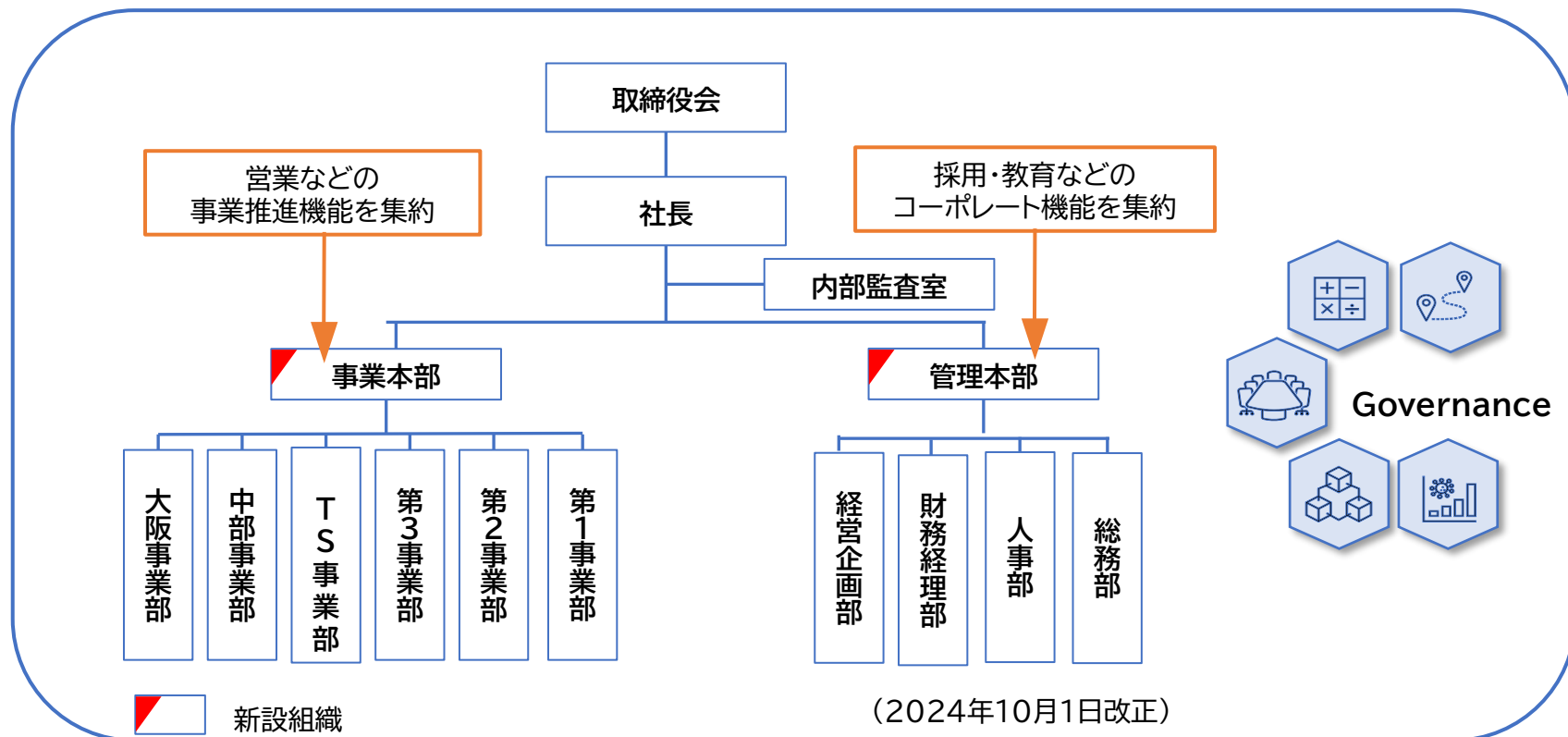
機動性の高い業務執行体制の構築

執行役員制度の導入

経営の意思決定・監督と
業務執行の機能分離

本部組織の導入

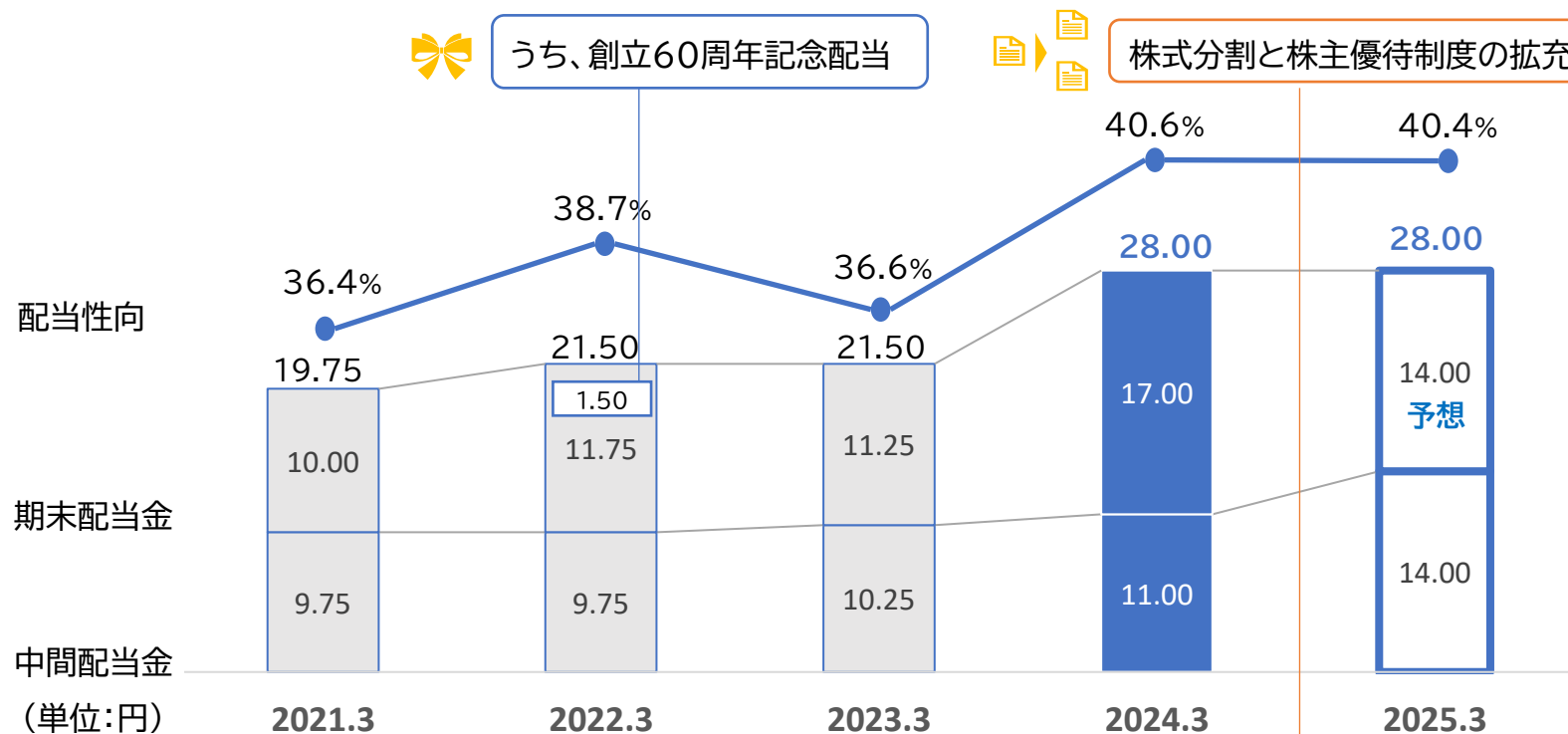
コーポレート機能の強化と
事業推進力の向上





株主還元

- ・配当性向40%を目途に株主還元の充実を目指す
- ・業容・業績の拡大とともに安定的かつ継続的に行う



株式分割の目的 : より投資しやすい環境を整え、投資家層の拡大ならびに株主数の増加を図ること
 株式分割の内容 : 2024年10月1日に普通株式1株につき2株に分割
 ※上記のグラフは、2021年3月期の期首に株式分割が行われたと仮定して、1株当たりの配当金を記載

株主優待制度の拡充: 【新設】3,000 株以上の保有株主様にカタログギフトe-book10,000円相当

Agenda

I

会社概要

II

2025年3月期 中間期決算

III

中期経営計画
(2023年3月期～2025年3月期)

IV

株主利益の維持・向上

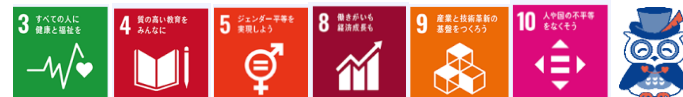
V

サステナビリティへの取り組み

VI

ご参考: データ資料

V サステナビリティへの取り組み 働きがいのある環境づくり



プロフェッショナル
人材の育成

マネジメント力、折衝力を備えたリーダーと
高度技術者の育成



社内DXの推進

バックオフィス業務の効率性や生産性の向上、
働き方を変革



多様な人材の活躍促進

多様な人材の働きやすい環境を整備
健康企業宣言東京推進協議会
「健康優良企業 銀の認定証」更新(2024年8月9日)



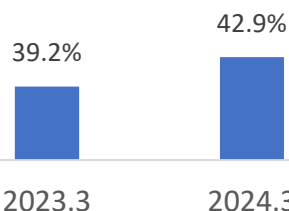
健康優良企業

そのほか様々な取組状況

管理職に占める
中途採用者の割合



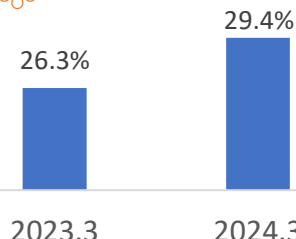
🌸 前期比3.7Pointアップ



女性採用比率



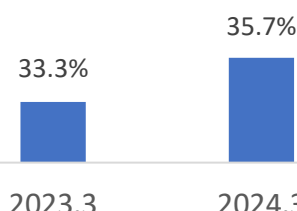
🌸 目標値の20.0%をクリア



男性労働者の
育児休業取得率



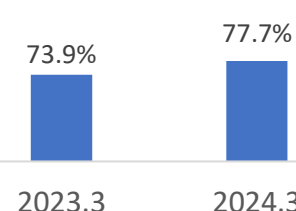
🌸 前期比2.4Pointアップ



有給休暇取得率



🌸 目標値の70.0%をクリア





企業理念のもと持続可能な社会の実現と地球環境の保全への取り組み

「PresentTree in 笛吹芦川」で植樹イベントを開催

当社は、認定NPO法人環境リレーションズ研究所が運営するPresentTreeを通じて、山梨県笛吹市で400本の植樹を行ないました。

URL:<https://presenttree.jp/>



【Present Tree とは】

認定NPO法人環境リレーションズ研究所が運営する「Present Tree」は、2005年1月にスタートした森林再生と地域振興をつなげるためのプロジェクトです。

環境省「つなげよう、支えよう森里川海」プロジェクト

「森里川海を豊かに保ち、その恵みを引き出すこと」「一人一人が森里川海の恵みを支える社会をつくること」を目指し、森里川海の保全・再生および都市部に住む人たちも含めて国民全体で森里川海の保全とそれに関わる人たちをつなげて、支えていく取組です。



旭情報サービス株式会社は
このプロジェクトに賛同しています

当社はこの取組に賛同しています。

環境目標(CO₂排出量目標)

長期的・持続的な省エネルギー活動によりCO₂排出量の削減に取り組んでいます。

2030年度目標

2017年度比でCO₂排出量を40%削減
(Scope1+2)

2050年度目標

カーボンニュートラル
(Scope1+2)

Agenda

I

会社概要

II

2025年3月期 中間期決算

III

中期経営計画
(2023年3月期～2025年3月期)

IV

株主利益の維持・向上

V

サステナビリティへの取り組み

VI

ご参考:データ資料

2025年3月期 中間期 経営実績及び財務状態等



		2024年3月期中間期	2025年3月期中間期
売上高 (前期比)	百万円	7,190	7,743
	%	+6.6	+7.7
営業利益 (前期比)	百万円	595	681
	%	+6.4	+14.4
経常利益 (前期比)	百万円	609	687
	%	+4.7	+12.8
中間純利益 (前期比)	百万円	414	468
	%	+4.8	+12.9
1株当たり中間純利益	円 銭	26.67	30.12
総資産	百万円	13,932	13,964
純資産	百万円	10,966	11,165
自己資本比率	%	78.7	80.0
1株当たり純資産	円 銭	705.49	718.29

当社は、2024年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり中間純利益と1株当たり純資産を算定しております。

2025年3月期 中間期 貸借対照表



(単位:百万円)	前事業年度 (2024年3月31日)	当中間会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産	10,117	9,615
現金及び預金	6,779	6,383
その他	3,338	3,232
固定資産	3,814	4,349
有形固定資産	57	54
無形固定資産	30	26
投資その他の資産	3,726	4,268
資産合計	13,932	13,964
負債の部		
流動負債	2,838	2,713
短期借入金	210	210
その他	2,628	2,503
固定負債	127	85
負債合計	2,965	2,798
純資産の部		
株主資本	10,854	11,058
評価・換算差額等	111	106
純資産合計	10,966	11,165
負債純資産合計	13,932	13,964

免責事項

- 本資料は、株主・投資家の皆様に当社の情報を提供し、ご理解いただくことを目的としており、当社株式の購入や売却等を勧誘するものではありません。
投資に関するご決定は、ご自身の責任と判断で行われるようお願いいたします。
- 将来の見通しや予測に関する記述は、資料作成時点で入手可能な情報に基づくものであり、リスクや不確実性を含んでおります。
実際の業績やパフォーマンスは経済情勢、市場動向、法令・規制の改正等、様々な不確定要素に影響を受けることがございます。
これらの要因により、見通しと大きく異なる結果となる可能性があることをあらかじめご了承ください。
- 掲載している情報については細心の注意を払っておりますが、内容について如何なる保証を行うものではありません。